

こんなもん買って！

第1回 デジタルカメラ Kodak DC210zoom

「また……。こんなもん買って……。」

「いやあ、それがなあ、安かったんやて、ほんま。」

……というふうに事後承諾を迫ると、たいていの奥方は「怒ってしまう&あきれてしまう」となり、最悪、口をきいてくれない事態にもなりかねませんので、注意が必要ですな。

「これ買って！これ買って！」と、子どものようなねばり強い説得で、コンセンサスを得た上での購入が望ましいでしょう。

ということで、この連載では私が最近購入したモノを紹介しますです。今回だけ長いですが、来月以降は1ページという事でよろしくお付き合いくださいませ。

さて、記念すべき第1回の御題は、デジタルカメラです。

私のデジカメ遍歴

一昨年の3月に（結婚して早々ですな）CASIOのQV-30を購入して以来、私の生活にデジカメはなくてはならないモノとなった。QV-30は27万画素と画素数が低いこととストロボが無いことを除けば、非常に使い勝手のよいカメラだったですな（って、だから今でも使ってるけどさ）。

昨年9月にNECのPiconaを購入。29800円だったかな。35万画素になり、写真としてもそれなりに写るデジカメだったのだが、構造上手ぶれを起こしやすい。どーも気に入らなかつたため半年しか持たず。STAND-BAYにて売却。10000円なり。で、売却と前後して衝動買いしたのが、CanonのPowerShot-350。19800円なり。こいつはストロボもついているし、ホールディングはしやすいし、発色も良かった。QVのように長く使えるかな、と感じたカメラだった。でも「だった」ということは長く使ってないわけやね。誰か私がこのカメラを持っているのを見たことがあるか？無いであろう、なにせ1日しか持ってなかつたからね。買った翌日に返品してしまったのだ。なぜかというと、このカメラ、ストロボを焚いたときだけ、まるで黄色フィルタをかけたような写真になってしまうのだ。ストロボを焚いたときだけ青のCCDが機能しない不良品なのでは？と思って交換を申し込んだところ、どの機種でも同様の現象が見られることが判明。「カメラのナニワ」は返品に応じてくれたのだ。さすが写真屋やね。これ、ふつうのコンピュータショップやったら返品には応じてくれなかつたやろな。

で、この顛末を嫁さんに話したところ、「いつも安物ばかり買うからです。ちゃんとしたモノを買いなさい」と宣われたので、私の物欲は一気に爆発。タイトルのカメラを買うことになったのですな（長い前フリでごめんね）。

購入にマル秘テク

さてターゲット決めに悩むのも買い物楽しいところですが、私の場合は、ズーム付きとコンパクトフラッシュという記録カードが使えることが条件になってましたので、あまり悩まずに Kodak の DC210zoom に決定。

日本橋を北から南まで巡回。安い店で 57800 円。30%OFF つすから人気の機種としてはまあまあですな。唯一在庫があって 1000 円安かったのが「アイ・ツー」でした。ここで決めても良かったのですが、もう一回り。私が日本橋を巡回する平日の夜 7 時以降は空いてるからね。

さて、ここで購入秘伝を教授しよう。まず安い店を探すのは当然として、その中で在庫が無いところで見積もりを取るのだ。在庫のない店は、客が他店に流れるのを防ぐため半月や一月後に価格が下がることを見越しての見積もりを書くことが多いものだ。私の場合は「〇ルテック」で、54000 円の見積もりを取った。さてここで半月待つのは愚の骨頂。この見積もりを持って即、在庫豊富な「〇フマップ」へ行くのだ。この店は自店より安い価格の見積もりを見せるだけで、その価格と同じか安くすると謳っている。私の場合は、同額（もちろんポイントもたまるぞ）+アルカリ電池 8 個サービスということで、決着。まあ自分でもセコイ、コスいという気がしないでもないが、安いに越したことはありませんからな。ふおふおふお。

さて、上記のようなドラマを経て、我が家に DC210zoom がやってきた。2 月 10 日のことだ。で、一月あまり使ってみての感想を書いてみよう。



いいところ

◇色がいい

CCD に原色フィルタを使用した機種は比較的色彩のいいパンチの効いた画像になる。この機種は原色フィルタの成果はもちろんのこと Kodak 特有の偏光フィルタをかけたような色の濃い写真になる。特に青空は抜群だ（というか見た目よりきれいに写る）。

◇パンフォーカス

電源が入っていれば、さっと撮れる。オートフォーカス機だと、ピントを合わせている間はシャッターが切れないことが多いだろうから、これはメリット。デメリットでもあるが（後述）。

◇周辺部のゆがみも小さい

今まで使ったことがあるデジカメ(QV30,Picon,PowerShot350,C420)の中では、もっとも画像のゆがみが小さい。広角側で撮った写真の周辺部はけっこう気になるものだが、まあまあ妥協できるレベルだ。

◇ズーム付き

やっぱ、ズームは便利。前後の動きがとれない場所もあるものだ。ファインダーもレンズのズームに連動して変化する。

ズームのワイド側はふつうのカメラに換算して 29mm とかなり広い範囲が写る。29mm というと、ぼーっとしているときに見える範囲の 4 倍程度の広さが写るのだ。これは狭い室内(カラオケボックスとか飲み屋とか)での撮影に最高だ。

◇ストロボ

やっぱストロボは必須ですな。できれば光量の調整ができると良いのだが。

◇電池

一般の単3乾電池4本で作動。専用バッテリーの機種(少なくなったが)に比べて、電池切れをしたときの心配が少ない。液晶画面のついている機種はどうしても、電池の消耗が激しいのだが、単3乾電池ならどこでも入手できる。ちなみに私は、サンヨーのニッケル水素充電電池を使っている。これはなかなか持ちが良いのでお奨めですぞ。

◇閲覧(撮った写真を見る)も便利

早い。プログレッシブ Jpeg ? って言うんすか、はじめは荒い画像が出て、じわじわときれいな画像に変化していく。何が写っているのかが分かればいいときなんか手早く見れて便利ですな。

◇コンパクトフラッシュ

内蔵メモリのみの機種だと、一杯まで撮ってしまえばそれで終わり。やはり交換可能な記録カードが使える機種がいい。DC210 には4 M^{メガ}のコンパクトフラッシュカードが付属。私は15 M^{メガ}のコンパクトフラッシュを持っていたので、これで十分な量だ。アダプタをつけるとノートパソコンに手早くデータを取り込むことができる。

◇108万画素の高画質

画素数が大きいので、かなり大きな画像が得られる。ま、私はホームページに載せたりWOOの原稿にする写真が多いので、高画質で撮ったことはないが。

アカンところ

◆レンズの繰り出し

電源を入れると引っ込んでいたレンズが、ぐぐーっと繰り出してくるのだが、繰り出したレンズと本体との隙間が怖くてたまらんぞ。小雨でも使用を躊躇してしまう。

ということで、これは早急な対策が必要。私は水道のパッキンでレンズフードを作りました。



◆パンフォーカス

「写るんです」と同じ、固定焦点だ。つまりピントを合せずに撮っている。もちろんフィルムと違ってデジカメの CCD のサイズは非常に小さいので、あまり気にはならない、はずだが。それでもやっぱりオートフォーカス機に比べると遠景のピントが甘いのが気になる。パソコンに取り込んでレタッチソフトで多少は何とかなるけどね。画質を最優先するなら薦めないな。



◆ズーム

望遠側が 58mm では、これは望遠とは言わん。3倍ズームは無理だろうか。3倍なら 87mm となり、まずまずなのだが。そうなるとパンフォーカスでは、ピントがきついんだろうなあ。

◆液晶を付けるとすごいタイムラグが。

あるんです。これには閉口。シャッターを押してから、よっころしょっと言ってから撮れるみたいな感じだ。だから普段は液晶は付けない。結果として電池も長持ちするので良いかもしれんなあ。

◆マクロ撮影が 20cm 固定なので辛い

あと、撮影距離が短いとパララックス (ファインダーの映像と写る画像の違い) が大きくなるので、それを防ぐため自動的に液晶がつくんです。そうすると先に書いたようにタイムラグが大きくなるんですわ。

ということで、つらつらと書いてみましたが、私はこのカメラが気に入っています。QV と同様に 2 年は使いたいですね。

ホームページもぜひご覧ください。

http://www.asahi-net.or.jp/~zz1s-mtmt/oh_woo/dc210z/dc210z_index.htm

でわでわ、みなさん、また来月～。

